

令和8年度 専門性向上研修 【学習全般】実施要項

研修形態	対象校種	受講対象	定員
対面集合	全校種（幼稚園を含む）	全ての教員、管理職	250名
講座名	公開授業研究会①(附属義務教育学校)		
研修コード	タイトル		
C904	探究的な学びと未来の教育～子供と共に考え、創る～		
講座のねらい	探究的な学びを中核においた附属幼稚園から附属義務教育学校の12年間の学びの過程を、学ぶ子供の姿から見取り、子供と語り、子供と共に現在の教育を問い直し、未来の教育を考えていく。そして、そのような学びにおいて、教師や学校の在り方について考えを深める。		
日時	令和8年6月12日(金) 10:00～14:15 <u>申込締切は令和8年5月22日(金)</u>	会場	福井大学教育学部 附属義務教育学校
研修内容	<input type="checkbox"/> 講義（概論説明） <input type="checkbox"/> 講義（事例紹介） <input type="checkbox"/> 参加者による実践報告 <input checked="" type="checkbox"/> グループ協議（学びを見取り語り合う） <input type="checkbox"/> 実技、演習 <input checked="" type="checkbox"/> その他（公開授業参観） ……一部変更する場合があります。御了承ください……		
福井県教員育成指標	学び続ける力、探求心 授業力		
選択受講を要する悉皆研修	3年目研修、中堅教諭等資質向上研修		
主催	教育総合研究所 (福井大学教育学部附属義務教育学校共催)	問い合わせ 欠席連絡	専門研修課 0776-58-2160



【留意点】

- ・当日、受付にて、**資料代500円を徴収します。**
- ・開始時間10分前までに受付をお済ませください。
- ・準備するものや資料があれば、Plantに登録のメールアドレス宛にお知らせします。
- ・福井県ではスマートスタイルを推進しています。
- ・詳細は福井大学附属教育学部附属義務教育学校のHPをご確認ください。

申込締切前

〈欠席の手続き〉

- ①受講者本人が Plant にてキャンセル手続きを行ってください。
- ②管理職による承認が済んでいる場合（申込中と表示）は、管理職に受講申込をキャンセルしたことを報告してください。

申込締切後

- ①管理職から電話にてご連絡ください。
- ②連絡後、欠席届（様式は教育総合研究所HPよりダウンロード）をメールで提出してください。

【送付先】 s-kensyu@fec.fukui-c.ed.jp 【提出形式】 PDF

福井大学教育学部附属幼稚園・義務教育学校

令和8年度

# 教育研究集会



第二次案内



令和8年6月12日(金) 8:10 ~ 16:30

会場:福井大学教育学部附属幼稚園・義務教育学校

義務教育学校研究主題(第Ⅱ期)

探究し協創するコミュニティ

義務教育学校研究副題(3年次)

「物語る」を問う

幼稚園研究主題

好きが広がり、世界をひらく

幼稚園研究副題(2年次)

遊びにおける展開の可能性を探る

本研究集会は、福井県教育総合研究所「専門性向上研修」を兼ねております。**\*「専門性向上研修」での参加希望の方は、福井県教育総合研究所HP内「Plant」からお申込みください。**

主催 福井大学教育学部附属幼稚園・義務教育学校

後援 福井県教育委員会 福井市教育委員会 福井県小学校教育研究会 福井県中学校教育研究会

# 附属義務教育学校

受付	児童生徒による オリエンテーション & ポスターセッション	公開授業Ⅰ + 語り合い	公開授業Ⅱ	昼食	分科会 (後期課程生徒参加)	
8:10	8:50	9:45 10:00	10:55 11:10	12:00	12:50	14:15

## 公開授業Ⅰ(10:00~10:45) 児童生徒との語り合い(10:45~10:55)

教科/学級/授業者	主題 / 「単元・題材」/ めざす授業
<b>国語</b> 5年2組 授業者: 齋藤 創	<b>この文いる？から始まる説明文読み</b> 「見立てる」「言葉の意味が分かること」 この説明文にこの文は必要？一文一文の役割を確かめたり、前後のつながりを比べたりしながら、筆者の考えを支え、読み手を納得へ導く文章構成の工夫とその効果に迫っていく。文章の内容を吟味しながら筆者の考えに迫り、それに納得したり問い返したりしながら自分の考えを深めていく授業。
<b>社会</b> 6年1組 授業者: 五十嵐 浩介	<b>どうする？北陸新幹線の未来~100年後の日本をデザインしよう~</b> 「わたしたちの願いを実現する政治」 北陸新幹線が福井に開業して2年。なぜ、いまだに敦賀以西の延伸は決まらないのだろうか？延伸をめぐる様々な立場の人々の思いや願いにふれながら、立場の違いによる対立点に気付き、何を優先すべきかを判断していく。民主的な合意形成の在り方を考え、よりよい社会の実現に向けた政治の役割を実感する授業。
<b>算数</b> 4年1組 授業者: 結川 宏幸	<b>小国旗を作って、海外の方たちを歓迎しよう</b> 「角とその大きさ」「垂直・平行と四角形」 附属に来られる海外の方たちに喜んでほしい。国旗に描かれた形を正確にかくには、どうしたらいいのだろうか？辺の長さや角度の大きさ、平行や垂直を意識しながら、正確にかくようと試行錯誤する子供たち。算数を使って考えることよさに気付きながら、みんなで学ぶ価値を見出す授業。
<b>理科</b> 4年2組 授業者: 出口 翔太	<b>空・地表・蛇口をつなぐ水の旅</b> 「季節と生物・金属、水、空気と温度・雨水の行方と地面の様子・天気の様子」 私たちの使う水は、どこからやってきて、どこへ行くのだろうか？生活で使う水の行方を追いかける中で、水の性質や役割を明らかにし、その不思議さや、生命の源としてのかけがえのない価値に迫っていく。当たり前にある水、教科の枠を越えて多角的に捉え直すことで、地球規模で起きている水の循環が自分事になっていく授業。
<b>音楽</b> 6年2組 授業者: 中村 涼子	<b>みんなで表現するとは？</b> 「歌声をひびかせて心をつなげよう」 合唱を通して表現したい思いとは何だろう。「音の重なりや旋律の動き」と「歌詞」との関わりを探り、表現していく中で、自分たちの「思い」を創り上げていく子供たち。音楽表現を深める中で、自分たちの思いと向き合い、心をつなげる授業。
<b>造形</b> 1年1組 授業者: 笹川 英理	<b>わくわくのみち</b> 「すきなかたちやいろなあに」 教室までわくわく歩ける自分たちのみちってどんなだろう？これまで経験した材料や道具を試しながら、玄関から教室まで、自分の心がときめくものがいっぱいのみちをつくる。自分がつくったものを飾ってみんなの空間をつくり出していくことを楽しみ、お互いの表現のよさを認め合う授業。
<b>体育</b> 3年2組 授業者: 田中 大樹	<b>みんなが主役！ラグバースポール</b> 「体づくり運動 バースポール型ゲーム」 勝利をつかむために必要な力は何だろう？打つ・走る・守る…。自身のトレーディングカードから自分たちが勝利をつかむために必要な力を分析し、解決に向けて様々な方法を試していく。よりよい答えを探りながらバースポール型ゲームの魅力を多面的に捉える授業。
<b>外国語活動</b> 3年1組 授業者: 大野木 亘	<b>I want to be friends with you!</b> 「Unit 4 I like blue.」 「私は〇〇が好きだけど、クラスの友達やALT、海外の人はどうかな？聞いてみたいな。」子供たちは、好きなことや欲しいもの、普段することなど、自分のことを詳しく伝えたり、相手のことを聴いて反応を返したり質問したりして互いのことをより深く知っていく。英語でのやり取りを通して、互いのことを知り、つながる喜びを感じる授業。
<b>技術</b> 7年A組 授業者: 高井 茂嘉	<b>みんなの『欲しい』をカタチに！学校生活に必要な製品をDIYしよう！</b> 「材料と加工の技術」 学校生活に必要なものを、自分たちの手で創り出せないだろうか？学校の実態を調べたり、周りからの要望を聞いたりしながら、仲間と対話を繰り返し、みんなの願いをカタチに変えていく。ものづくりを通して、作る責任と価値に気付き、便利で豊かな私たちの生活を支える技術の役割について考えていく授業。

## 児童との語り合い（各教科の授業後10分間）

授業で見取ったことを、直接児童と語り合い、お互いの学びを深める時間として設定しています。ぜひ授業を受けていた児童と教科の学びについて語り合ってください。



分科会(12:50~14:15)

①各教科の分科会 会場:義務教育学校の各教室

前期課程と後期課程の公開授業における子供たちの学びをもとにしながら、教科の学びについて教師と子供たちが語り合い、義務教育課程における協働探究の在り方について考えていきます。

②幼稚園の分科会 会場:義務教育学校

実践を通じた園児の幼稚園での育ちについて協議していきます。  
分科会は3歳児・4歳児・5歳児合同で行います。



## 公開授業Ⅱ(11:10~12:00)

教科/学級/授業者	主題 /「単元・題材」/ めざす授業
<b>国語</b> 8年B組 授業者:杉川 嘉郎	<b>再発見! 説明的文章の魅力</b> 「クマゼミ増加の原因を探る」 どうして筆者によってこんなに書き方が変わるのだろうか? 本文と、これまで読んできた説明的文章との比較から、工夫の違いに気付き、文章に込められた筆者の意図に迫っていく子供たち。説明的文章に対する新たな見方、新たな価値を獲得していく授業。
<b>社会</b> 9年B組 授業者:北島 正也	<b>戦争のない平和な世の中を創るために、私たちにできることを考えよう</b> 「歴史的分野『近代の世界と日本』」 2026年になっても、世の中では戦火の炎が絶えない。国同士の対立は、本当に戦争でしか解決することができないのだろうか? 当時の多様な立場を踏まえて近代の歴史のストーリーを見つめる中で、当時の人々の思いやその裏にある時代背景を探っていく。過去と現在を往還しながら、民主的な社会の価値を見出す授業。
<b>数学</b> 8年A組 授業者:竹内 俊力	<b>ゲームの勝敗は時の運?! ゲームを面白くする確率とは?</b> 「場合の数と確率」 ポーカーなどのトランプゲームはなぜ熱中するほど楽しいのだろうか? 既存のゲームをもとに新たな遊びを創り出そうとしながら、ゲームの面白さが緻密に計算された確率に基づくことを解き明かしていく子供たち。仲間と共にゲームの仕組みを紐解く過程で、起こりうるパターンを洗い出したり、確率を計算しながら勝ち筋を模索し、確率の奥深さに迫る授業。
<b>理科</b> 7年B組 授業者:松本 拓也	<b>調理の最高条件を解明</b> 「いろいろな生物とその共通点」「身のまわりの物質とその性質」 科学の視点から食材の最高の状態を引き出すことはできないだろうか? 状態変化について時間と温度の関係など2つの要素をグラフ化し、食材ごとの最適な調理条件を追い求めていく子供たち。物質の状態を捉える視点を定性的から定量的へと昇華させ、生活に対する科学的な見方の有用性を感じていく授業。
<b>音楽</b> 9年C組 授業者:畑中 結衣	<b>わたしたちの「最高」のGloriaを表現しよう</b> 「曲想と詩や曲の背景との関わりを理解し、表情豊かに歌おう」 わたしたちにとっての「Amen」とは? これまでの先輩たちのGloriaと比べたり、曲想と詩や曲の背景との関わりを表現に生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を探っていく子供たち。今この瞬間、この仲間と共に創る響きや表現を味わい、高めていく授業。
<b>美術</b> 9年A組 授業者:坂居 澄美	<b>音を描く ~抽象の世界へ~</b> 「自分を表現する色」 心に響く音楽は、どんな色・形をしているだろう。自分の「大切な曲」をもとに、自分と曲との間に流れるエピソードを想起しながらイメージを膨らませ、世界観に合う表現を探っていく。時にやわらかく、時に鋭い、自由な抽象の世界に親しみを抱き、目には見えないお互いの感性を感じるとる楽しさを味わう授業。
<b>家庭</b> 7年A組 授業者:小寺 拓也	<b>幼児の思いから形にする衣装づくりプロジェクト</b> 「衣食住の生活『衣生活』」 幼児にはどんな服が適しているだろうか? 幼児と「遊び」を通して関わる中で、思いや興味に寄り添い、対話を重ねながら、デザイン性だけでなく機能性や安全性を両立した衣装づくりを進めていく。幼児にとって理想な服を探っていくことで、衣服によって生活が支えられていることに気付いていく授業。
<b>保健体育</b> 7年C組 授業者:田中 孝治	<b>9人で生み出せ ビッグイニング!</b> 「ベースボール型(球技)」 チームでより多くの得点をとるにはどうすれば良いだろう。打ち方やチームとの関わりにおける、自分にとっての「最適」を探り、結成した9人で大量得点の獲得を目指す子供たち。ベースボール型の魅力に触れる中で、チーム内の自他の役割や特性を見つけ、生かし合う授業。
<b>英語</b> 8年C組 授業者:伊藤 江莉奈	<b>Let's talk about our "best" jobs!</b> 「Unit 3 What kind of job are you interested in?」 自分にとって、1番“ぴったりな”仕事ってなんだろう。自身の興味や関心だけではなく、客観的な情報を「なぜ?」という疑問を用いて聴きながら、自分の将来像について語り合う子供たち。将来の職業選択に関する対話の中から、子供たちが自分や相手のよさを問い直していく授業。

# 附属幼稚園

受付	オリエンテーション	公開保育	公開授業Ⅱ (義務教育学校)	昼食	分科会 (3、4、5歳児合同)
8:10	8:50	9:00	10:55 11:10	12:00	12:50 14:15

保育者	主題 / めざすあそび
<b>あそび</b> 年少/年中/年長 保育者: 上田晴之 瀬戸真世 前田祐子 血原正紘 立壁葉子 廣瀬友加里	<b>年少「はやくあそびたい」</b> 一人一人が安心して過ごせる環境の中で、新たなもの・こと・人・遊びに自ら出会い、自分を出しながら遊びを楽しんでいく。周りの子の遊びにも興味を向けながら、自分の好きな遊びを見つけていく。教師と一緒に遊んでいる子の思いを伝えようとし、いろいろな遊びに自ら関わり楽しく遊ぶことを目指す。 <b>年中「いっしょにあそぼ」</b> 好きな遊びを楽しむ中で、自らやりたいことに出会い、気付きを重ねながら面白さや不思議さを友達と一緒に味わっていく。その中で、友達の思いや気付きに触れながら、遊びをとことん楽しんでいくには？周囲の環境との関わりの中で、自分を出しながら遊ぶことを目指す。 <b>年長「ちからをだして」</b> 自分のやりたい遊びに意欲的に取り組む中で、目的に向かって挑戦したり、友達の「好き」に共鳴したり、一緒に相談したり、協力したりしながら探究する面白さを味わっていく。その中で、もの・こと・人との出会いや気付きを重ね、試行錯誤しながら遊びを展開していくには何が大切なのか。遊びを通して自己発揮し、自分の身の回りの世界、そして未来へ期待感を持てるような保育を目指す。

## 全体会・シンポジウム (14:30~16:30)

### テーマ「学びを物語り、拓く未来」

#### シンポジスト



秋田 喜代美 氏

鹿毛 雅治 氏

牧田 秀昭 氏

学習院大学文学部 教授

慶應義塾大学教職課程センター 教授

本校 統括研究主任

秋田 喜代美 氏

鹿毛 雅治 氏

河合 創

#### コーディネーター

福井大学連合教職大学院客員教授

牧田 秀昭 氏

子供たちは、あらゆる事象や材と関わり、問いかけ、語り合う中で、その意味や価値を捉え直していく。教師は、その子供たちの歩みに寄り添い、見取り、彼らのまなざしの先を共に見つめ、個々のストーリーを編み込みながらコミュニティの学びを支え、その発展を試みる。幼稚園から義務教育学校の12年間の協働探究を通して、子供たちの多様性が生かされ、物語られる学びがどのような未来を拓いていけるのか。ご参会いただいた皆様とともに、子供の学びの姿から、これからの学校教育の在り方を考えていきたいと思います。



シンポジウム生配信のお知らせ  
 オンライン(Zoom)にてシンポジウムの様子を生配信します。ご希望の方は下記二次元コードよりお申し込みください。後日、ID、パスコード等をメールにてご連絡いたします。



本校の教育実践、最新の教育研究をまとめた本が発売されました！

「教える専門家」から「共に学び合う専門家」へ——福井大学教育学部附属幼稚園・義務教育学校の「12年間」の育ちを見据えた校種を超えた実践から、教育の新たな可能性を探る。子どもと保育者・教師が共に探究することを通して、「学び」をつなぎ「文化」を創造する。それを可能とする専門性とは。

当日、会場で**特別価格**でお求めいただけます。

資料代 **500円**

※参加される方は、ご昼食を各自でご準備ください。  
 ※研究紀要はPDFで配布します(後日パスワード配布)。冊子での購入希望の方は、受付でお申し出ください。  
 ※申し込み方法: 右の二次元コードより必要事項をご記入の上、お申し込みください。

福井県教育総合研究所の「専門性向上研修」の申込は、本フォームではできません。

申し込み締切  
 令和8年

**5月29日(金)**

申し込み用 二次元コード



問合せ先: 担当: 河合 創(義務教育学校)・上田 晴之(幼稚園)  
 〒910-0015 福井県福井市二の宮4丁目45-1 Email: fuzoku-j@f-edu.u-fukui.ac.jp  
 TEL 0776(22)6985 FAX 0776(22)6703  
 HP: <https://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/~fuzoku-g/>

<https://forms.office.com/r/z9SAwNpYbr>